

音楽芸術表現専攻（ピアノ）

ディプロマ・ポリシー

研究計画で設定された各自の目標が達成されたことが確認されることが必要である。

具体的には、

- ・ピアノの実技試験を通して、入学時に比べてより高度の演奏能力を身につけ、ピアニスト、または室内楽奏者や伴奏者、および指導者として将来活躍できる可能性があることと認められること
- ・ピアノ演奏や指導についての広範な知識や能力が身についたことが、試験により確認できること。また試験やコンサート等を通して、より高度な合奏能力や伴奏能力を獲得したことが確認できること
- ・音楽および芸術全般に関して広範な知識と教養を得たことが、学科目等の試験を通して確認できること。さらに修士論文もしくは修士研究を修めること

である。

その上で、学位審査に通ることが必要である。

カリキュラム・ポリシー

ピアノの分野において専門性の高い研究を行うために、研究計画書を作成して目標を定め、それに基づいて研究を進める。

最も重要なのは、徹底した個人レッスンを通して、ピアノ演奏を技術と表現方法の両面から深く研究し、高い演奏技術と表現力を獲得することである。さらに小規模編成や大規模編成の合奏および伴奏能力の向上に努めるとともに、指導者としての能力を身につけることで、社会の多様なニーズに対応できる即戦力の養成を目指す。また音楽全般、芸術全般にわたる広範な知識を身につけると同時に、演奏することと論理的に思考することの統合を図るべく修士論文または修士研究を執筆する。

【履修例】

	(例1) 演奏家を目指す	(例2) 指導者を目指す	(例3) 伴奏者を目指す
必修（専門）	音楽芸術表現実技（ピアノ）① 4 音楽芸術表現実技（ピアノ）② 4	音楽芸術表現実技（ピアノ）① 4 音楽芸術表現実技（ピアノ）② 4	音楽芸術表現実技（ピアノ）① 4 音楽芸術表現実技（ピアノ）② 4
必修（共通）	音楽研究法基礎 1 西洋音楽史特殊講義 2	音楽研究法基礎 1 西洋音楽史特殊講義 2	音楽研究法基礎 1 西洋音楽史特殊講義 2
	↓	↓	↓
選択必修（専門）	課題研究Ⅱ 1	課題研究Ⅰ 2	課題研究Ⅱ 1
	↓	↓	↓
コース必修（専門）	室内楽特別演習① 2 室内楽特別演習② 2 合奏特別演習① 2 合奏特別演習② 2	合奏特別演習① 2 合奏特別演習② 2 指導法特別演習 2	室内楽特別演習① 2 室内楽特別演習② 2 合奏特別演習① 2 ピアノ伴奏研究① 2 ピアノ伴奏研究② 2
	↓	↓	↓
選択（共通）	学外実習研究① 1 学外実習研究② 1 ピリオド演奏研究Ⅰ 2 ピリオド演奏研究Ⅱ 2 作品研究特殊講義Ⅲ 2 西洋音楽史研究Ⅳ 2 音楽芸術と社会特殊講義Ⅱ 2 実践英語研究① 1 実践英語研究② 1	作品研究特殊講義Ⅲ 2 作品研究特殊講義Ⅳ 2 西洋音楽史研究Ⅰ 2 西洋音楽史研究Ⅱ 2 西洋音楽史研究Ⅲ 2 西洋音楽史研究Ⅳ 2 音楽芸術と社会特殊講義Ⅰ 2 音楽芸術と社会特殊講義Ⅱ 2	学外実習研究① 1 学外実習研究② 1 ピリオド演奏研究Ⅰ 2 ピリオド演奏研究Ⅱ 2 作品研究特殊講義Ⅰ 2 実践英語研究① 1 実践英語研究② 1 実践伊語研究① 1 実践伊語研究② 1
	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓
修了要件	32単位以上 計 34	32単位以上 計 35	32単位以上 計 34

【基本的な注意事項】

- ・上表中※印は半期科目。
- ・履修例を参考に履修登録をすること。
- ・教職専修免許状取得希望者は、教職欄に○が付いている科目を24単位以上修得すること。
- ★「課題研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を履修するにあたっては1年次に「音楽研究法基礎」を修得済であること、また、留学生等は日本語能力検定試験N2レベル以上を取得していることを必須条件とする（履修登録期間より前にN2レベル以上を取得できていない場合は、「課題研究Ⅲ」を履修すること）。

【実技試験注意事項】

- ・演奏時間は次のとおりとする。それぞれの試験課題曲については、その都度発表する。
- 1年次 15～30分
- 2年次 20～40分

音楽芸術表現専攻（ピアノ）

2022年度入学

科目 区分	教 職	科目名	1年次			2年次			備考
			必修	選択 必修	選択	必修	選択 必修	選択	
専門科目	○	音楽芸術表現実技（ピアノ）①	4						
	○	音楽芸術表現実技（ピアノ）②				4			
	○	課題研究Ⅰ（修士論文）					2		} 3科目のうちどれか1科目 選択必修 ★履修条件あり（左ページ参照）
	○	課題研究Ⅱ（修士研究）					1※		
		課題研究Ⅲ（修士研究）					1※		
		室内楽特別演習①			2				
		室内楽特別演習②						2	
		合奏特別演習①			2				
		合奏特別演習②						2	
	○	指導法特別演習			2				
	○	ピアノ伴奏研究①			2				
	○	ピアノ伴奏研究②						2	
		舞台発声研究（仏語）Ⅰ			1※				
		舞台発声研究（仏語）Ⅱ			1※				
		舞台発声研究（独語）Ⅰ			1※				
		舞台発声研究（独語）Ⅱ			1※				
		声楽アンサンブル特別研究Ⅰ			2				
		声楽アンサンブル特別研究Ⅱ						2	
共通科目		音楽研究法基礎	1※						
	○	西洋音楽史特殊講義	2※						
		学外実習研究①			1				所定の審査を受け、履修指示された者の のみ履修可。シラバスを参照のこと
		学外実習研究②						1	
		音楽と学術研究Ⅰ			1※				
		音楽と学術研究Ⅱ			1※				
		ペリオド演奏研究Ⅰ			2※				
		ペリオド演奏研究Ⅱ			2※				
	○	作品研究特殊講義Ⅰ			2※				
	○	作品研究特殊講義Ⅱ			2※				
	○	作品研究特殊講義Ⅲ			2※				
	○	作品研究特殊講義Ⅳ			2※				
	○	西洋音楽史研究Ⅰ			2※				
	○	西洋音楽史研究Ⅱ			2※				
	○	西洋音楽史研究Ⅲ			2※				
	○	西洋音楽史研究Ⅳ			2※				
	○	音楽指導論特殊講義			2※				
		音楽芸術と社会特殊講義Ⅰ			2※				
		音楽芸術と社会特殊講義Ⅱ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅰ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅱ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅲ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅳ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅴ			2※				
		音楽マネジメント特殊講義Ⅵ			2※				
		実践英語研究①			1※				
		実践英語研究②			1※				
		実践伊語研究①			1※				
		実践伊語研究②			1※				
	○	原典講読研究Ⅰ			2※				
	○	原典講読研究Ⅱ			2※				
		海外特別研修①			1				
		海外特別研修②						1	
		日本語文法とコミュニケーション研究Ⅰ			1※				} 指定された者のみ履修可 (6ページ参照)
		日本語文法とコミュニケーション研究Ⅱ			1※				
		日本語と日本社会研究Ⅰ			1※				
		日本語と日本社会研究Ⅱ			1※				
		実用日本語研究Ⅰ			1※				
		実用日本語研究Ⅱ			1※				
		日本語日本文化研究Ⅰ			1※				
		日本語日本文化研究Ⅱ			1※				
		日本語日本文化研究Ⅲ			1※				
		実践日本語研究Ⅰ			1※				
		実践日本語研究Ⅱ			1※				
		実践日本語研究Ⅲ			1※				
		実践日本語研究Ⅳ			1※				
		実践日本語研究Ⅴ			1※				

オペラ

声楽研究

ピアノ

弦・管・打楽器

電子オルガン

作 曲

指 揮

アート
マネジメント

音楽療法